



第279号

2012年(平成24年)4月1日

大臨技ニュース

〒543-0018
大阪市天王寺区空清町 8-33
大阪府医師協同組合東館 4 階
TEL.06-6763-5652 FAX.06-6763-5653
社団法人・大阪府臨床検査技師会
発行責任者：今井 宣子
大臨技ホームページ URL
http://www.osaka-amt.or.jp/

他職種公開講座

情報組織部 チーム医療部門からのお知らせ

糖尿病療養指導部会 定例勉強会

評価点

基礎教科-20点(会員証をお持ちください)

※評価点=日臨技生涯教育点数

日本糖尿病療養指導士(CDEJ)の受験および5年ごとの資格更新の際には、糖尿病療養指導自験例(症例)の提出が必須です。患者さんの身体所見や合併症、薬物療法の他に①症例の療養指導上の問題点 ②問題点に対する対応 ③主治医やチームの他職種との連携 ④患者さんの変化についてまとめます。どのように症例を選ぶか、どんな表現方法を用いるかノウハウを2名のCDEJの方にお話していただきます。

受験や更新の流れについてもレクチャーしていただく予定ですので、これから受験を考えている方、更新を予定されている方には必見です。

もし同じ施設で検査技師以外でもCDEJ受験に興味のある方がおられたらぜひお誘いください。今、受験を考えておられない方でも患者さんとの関わり方にとっても参考になる内容です。多くの方の参加をお待ちしております。

Theme 「糖尿病療養指導士受験対策—自験例の書き方を学ぼう」

■日時 平成24年4月11日(水) 18:30~20:00

■会場 大阪鉄道病院 3階講堂
(JR天王寺駅、地下鉄御堂筋線・谷町線天王寺駅、
近鉄阿部野橋駅 徒歩5分)

■参加費 500円(非会員は別途、資料代が必要です。)

■連絡先 ふくだ内科クリニック 横山 有子

Email: ar-ykym@mua.biglobe.ne.jp

※注意 セキュリティの関係上、ご面倒ですが会場の入口で臨床検査技師会会員証の提示の協力をお願いします。

講師：済生会中津病院 柏山 和行
大阪市立十三病院 横田 裕香

糖尿病療養指導士認定のための更新単位

(臨床検査技師のみ第1群):0.5単位

(CDEJの方で認定機構発行の「学会・研修会出席証明書」の必要な方は各自持参して参加証明印をもらってください。)

2群の単位は取得できません。

【大阪CDE認定機構発足のお知らせ】

大阪CDE(ローカルCDE)認定機構は、大阪における糖尿病教育の正しい知識、及び技術の普及・啓発を図るための医療スタッフの養成及び認定を目的とした機構です。

日本糖尿病療養指導士(CDEJ)の受験資格のない施設の臨床検査技師の方も大阪CDEの受験は可能になっています。詳しくは大阪CDEのHPをご覧ください。

URL:www.osakacde.org

大臨技共催事業

2012年 子宮頸がん検診啓発活動

細胞検査士会がNPO法人子宮頸がんを考える市民の会と協力した街頭キャンペーンを行います。

大臨技共催事業として、皆様のご参加ご協力をお願い申し上げます。

■日時 平成24年4月14日(土) 14:00~17:00

■会場 高島屋大阪店周辺路上(南海難波駅北すぐ)・まいどなんば献血ルーム

■共催 日本細胞学推進協会 細胞検査士会 大阪府支部

■連絡先 市立豊中病院 臨床検査部 清水 隆之 (Email:) akane@mub.biglobe.ne.jp

評価点 基礎教科-20点(会員証をお持ちください) ※評価点=日臨技生涯教育点数

内容

「子宮頸がん検診啓発 市民への呼びかけ」 「献血」

- ・のぼりとTシャツ着用によるアピール、チラシ等の配布および「まいどなんば献血ルーム」内での展示
 - ・街頭呼びかけのみ、献血のみでも行事参加登録いたします。
 - ・14:00~17:00に高島屋大阪店周辺路上にて行事参加登録受付いたします。
- 大臨技渉外部スタッフに声をかけてください。



【会員証提示のお願い】 講演会・講習会参加時は必ず会員証をご持参ください。ご提示なき場合は非会員扱いとさせていただきます。

輸血基礎講座

評価点 専門教科-20点 (会員証をお持ちください)
※評価点=日臨技生涯教育点数

本年度の輸血基礎講座は輸血検査に必要な基礎的な内容についての講義を2回にわたって行います。

ローテーションや当直で輸血検査に携わる事になった方、新入職員の方等多数の会員の皆様の参加をお待ちしています。参加申込は不要です。

- **会場** 大阪医科大学 臨床第1講堂
(阪急高槻市駅すぐ。JR 高槻駅徒歩8分)
- **時間** 14:00～17:00 (受付13:30～)
- **参加費** 会員1,000円 非会員2,000円(各回。テキスト込)
(注) 先月号のお知らせから変更しました。

問い合わせ先

「件名」を「輸血基礎講座問い合わせ」とし、下記のアドレスにメールを送信するもしくは電話でお願いします。

yuketsu-osaka@mail.goo.ne.jp

電話の場合：06-6372-0675

大阪府済生会中津病院 深田 恵利奈

輸血基礎講座1 平成24年4月14日(土)

- 内容 ①輸血療法について
②血液製剤について
③ ABO式血液型・Rh式血液型

輸血基礎講座2 平成24年5月12日(土)

- 内容 ①輸血検査法の原理・基本手技
②不規則抗体
③交差適合試験



輸血基礎実技講習会

【内容】 ABO式血液型、Rh式血液型、不規則抗体、交差適合試験

基本的な輸血検査の実技講習です。カラム凝集法も体験できます。参加申込等詳細は来月の大臨技ニュースに掲載します。

- **日時** 平成24年6月3日(日) 9:00～17:00
- **参加費** 会員6,000円 非会員10,000円
- **会場** 大阪市立大学 医学部生化学実習室

血液検査部門『血液形態セミナー・シニアコース』

評価点 専門教科-20点 (会員証をお持ちください)
※評価点=日臨技生涯教育点数

今年度も例年通り、血液形態セミナー・シニアコースを開催いたします。本セミナーは末梢血液標本・骨髓標本を用いた症例検討会です。郵送で標本を回覧し、分類結果を期日までにメールで送信していただき、セミナー当日に分類結果の報告と標本提出施設が症例解説を行う勉強会となっております。それに先駆け、ガイダンスを行います。ガイダンスでは正会員の登録、斑分け、標本提出施設の決定などを行います。正会員希望の方は、必ずガイダンスに出席してください。(技師会会員証を必ず持参してください。)

ガイダンスについて

- **日時** 平成24年4月5日(木) 18:30～20:00
- **会場** 大阪府済生会中津病院
南棟2階講堂(会場変更の場合あり)
- **参加資格** 1. 技師会会員であること。
2. 血液形態検査に3年以上の経験を有し末梢血液像、骨髓像が分類できること。
3. 原則として症例発表ができる施設であること
4. エクセルファイルを添付してメールで送受信出来る環境があること(分類結果報告用)
- **募集人数** ▶ **正会員**
25～30施設の代表者で、各施設1名(標本を各施設に回します)
▶ **年間オブザーバー**
数施設(標本に余裕がある場合のみ回します)
▶ **オブザーバー**
約30名(聴講のみ)
- **会費** ▶ **正会員**
4,500円(9回) 郵送費込み(切手を配布)
▶ **年間オブザーバー**
4,000円(標本がある場合の郵送費は別途必要)
▶ **オブザーバー**
500円(1回につき)
(ガイダンス不参加で年間オブザーバー希望の方は4,000円。ただし、聴講のみ)
- **連絡先** 星ヶ丘厚生年金病院 検査部 稲田 孝
TEL: 072-840-2641

年間開催日(症例検討)

- **時間** 18:30～20:00
- **開催日 2012年**
6月 7日(木) 7月 5日(木) 8月 2日(木)
9月 6日(木) 10月 4日(木) 11月 1日(木)
12月 6日(木)
- **2013年**
1月 10日(木) 2月 7日(木)

6月は会場もしくは日程変更があります。7月も変更の可能性あります。6月の変更については決まり次第大臨技ニュースに掲載および正会員の方にはメールで連絡。7月は変更がある場合のみ掲載、連絡しますのでご確認のうえご参加ください。

注) 新規で正会員登録の施設は今年度本セミナーに慣れていただき、次年度必ず症例報告をしていただきます(自施設で症例が準備できない場合は、関連病院や友人との共同発表でも結構です)。

- 血液認定技師試験を意識した動画の模擬試験はガイダンス時に要望があれば検討いたします。
- 分類結果の集計はメールで行います。ガイダンス時までに“集計で使用できるメールアドレス”をご準備ください。
- 事情により会場、日程を変更する場合があります。変更する場合のみ大阪府技師会のHPに掲載しますので、開催日前日には確認をお願いします。(正会員の方にはメールでも案内させていただきます)
- 正会員、ガイダンス参加で年間オブザーバーの会費は、ガイダンス当日にくれぐれもお釣りの無いように持参ください。なお、領収書の必要な方はガイダンス当日にお聞きしますので、お知らせください。領収書は6月に配布することになります。
- ご不明な点は、左記連絡先までお問い合わせください。

血液検査部門『血液形態セミナー・ジュニアコース』

評価点

専門教科-20点 (会員証をお持ちください)
※評価点=日臨技生涯教育点数

血液形態**初心者**を対象とした「血液形態セミナー・ジュニアコース」を開催致しますのでご案内申し上げます。

本年度は通常の講義と鏡検実習のコースと若干名ですが聴講のみのコースも設けました。また、実習ではテーブルディスカッションも予定しております。

受講希望の方は**全文をよく読み**お申し込みください。

講師：大阪府臨床検査技師会
血液検査部門世話人 ほか

- 会場 大阪医療技術専門学校
〒530-0044 大阪市北区東天満2-1-30
- 受講費 **Aコース(講義と鏡検実習)：13,000円**
(銀行振込みによる前納、振込み手数料は受講者負担。講義資料CD代、障害保険料含む。)
Bコース(講義の聴講のみ)：6,000円
(銀行振込みによる前納、振込み手数料は受講者負担。講義資料CD代含む。)
- 定員 Aコース：48名
Bコース：10名
- 連絡先 星ヶ丘厚生年金病院 検査部 稲田 孝
〒573-8511 大阪府枚方市星丘4-8-1
TEL：072-840-2641

申込要領

申し込みはメールで行います(携帯メール不可)。件名はAコース希望の方は「ジュニアA」、Bコース希望の方は「ジュニアB」とし、本文に右記の内容をすべて記入し送信してください。空欄がある場合は無効とします。入力の際、英数字は半角を使用してください。

申込先

血液形態セミナージュニアコース事務局
大阪府済生会中津病院 検査技術科 中村 恒仁
E-mail：osaka.ketsueki@gmail.com

受付期間

4月9日(月)0時～4月12日(木)18時
受付期間外に到着したメールは無効とします。
※ただし定員に満たない場合は受付期間後も受付いたします。

注意事項1(申し込みに関して)

- 1) 申込者は技師会会員であること。会員でない方は必ず技師会入会手続きをしてください。
- 2) 先着順で受付を行います。他府県会員は最大6名までとします。(ただし、大阪府技師会会員の申し込みが42名未満の場合はこの限りではありません。)
- 3) 同一コースを施設内で複数の方(施設内の自宅会員の方も含めて)が申込みされる場合は、施設内で優先順位を決めて、一人1通のメールを送信してください(施設内で参加希望の方が1名の場合は「1」と記入)。優先順位が重複していたり、未記入の場合は無効とします。設備に制約がありますので、申込多数の場合は各施設1名とします。
- 4) 各施設1名としても定員を超えている場合は、先着順で初回受講、初心者の方を優先して受講者を決定とします。
- 5) 同一人物がA、B両コースを申し込まれた場合、メールはどちらも無効とします。
- 6) 両コースとも同等扱いでどちらを受講されても次年度からは受講歴ありとします。
- 7) 受講者決定後、メールで返信しますので受講者は期日までに指定口座に受講費をお振込みください。指定口座、振込み期限は返信メールに記載します(振込み期限は4月23頃を予定)。受講費振り込み後のキャンセルは返金いたしません。
- 8) 期日までに振込みが確認出来ない場合はキャンセル扱いとし、次の申込者を繰り上げます。この場合、次の方には電話で連絡します。
期限後に振り込まれた場合は、振り込み手数料を差し引いた金額を指定口座に振り込み、返金させていただきます。
- 9) フリーメールの受信拒否設定をされている方は必ず解除しておいてください。
- 10) 4月16日までに返信メールが届かない場合は連絡先に電話にてご連絡ください。

注意事項2(受講に関して)

- 1) 都合により、日程の変更や講義内容が前後する場合があります。ご容赦ください。
- 2) 使用した標本は一部を除き回収します(貸し出しは可)。
- 3) 各日とも講義→鏡検実習の順で行いますので、Bコースの方は日曜日に長い空き時間ができますがご了承ください。実習中は講義教室で待機もしくは外出も可。
- 4) 日曜日はお弁当等をご持参いただくか、外食も可。

※ご不明な点は、受付期間前に申込み先までメールでお問い合わせください。

日程

- (1) 5月12日(土) 14:30～17:00 (14:00～受付開始)
「血液検査(概論)」、「血液検査担当技師として」の講義と血液像のテスト
- (2) 5月18日(金) 18:00～20:30
「血液形態標準化」の講義と鏡検実習
- (3) 5月20日(日) 9:30～15:30 (12:00～13:00昼休憩)
午前：「顆粒球・リンパ球・単球」の講義と鏡検実習
午後：「赤血球・赤芽球分類基準」の講義と鏡検実習
- (4) 5月25日(金) 18:00～20:30
「血液疾患と生化学検査」の講義と鏡検実習
- (5) 6月3日(日) 9:30～15:30 (12:00～13:00昼休憩)
午前：「凝固系検査」の講義と鏡検実習
午後：「遺伝子・染色体検査」、「細胞性免疫検査」の講義と鏡検実習
- (6) 6月15日(金) 18:00～20:30
「骨髓像の見方」の講義と鏡検実習
- (7) 6月24日(日) 9:30～15:30 (12:00～13:00昼休憩)
午前：「F A B分類」の講義と鏡検実習
午後：鏡検実習

記入(入力)事項

- 1 希望コース(AもしくはBを記入)
- 2 氏名
- 3 氏名フリガナ
- 4 所属施設
- 5 所属施設住所
- 6 所属施設電話番号・内線
- 7 血液検査経験年数
- 8 施設内優先順位(注意事項1-3)参照
- 9 技師会会員番号(申請中の方は「申請中」と記入)
- 10 所属技師会(都道府県名)
- 11 受講歴(ジュニアコースを受講した事がない方は「0」、ある方は「1」を記入)
※自宅会員の方も必ず所属施設・住所・電話番号を記入してください。

臨床化学検査部門講演会

評価点

専門教科-20点(会員証をお持ちください)
※評価点=日臨技生涯教育点数

Theme

「ペプシノゲンとピロリ抗体による”胃の健康度チェック”
-A B C分類について-

講師: 栄研化学株式会社 市場対策室学術第一部三課 関根 和人

- 日時 平成24年4月12日(木) 18:30~20:00
会場 大阪市立大学医学部 4階小講義室1
参加費 500円
(非会員は別途、資料代として500円必要です)
定員 約200名
連絡先 大阪市立大学医学部附属病院 石田 繁則
Email: shigei@med.osaka-cu.ac.jp

今年度最初の講演会は、胃の検診についてです。
胃カメラを用いず血液検査だけで、胃の健康度をチェック
するABC分類とはどのようなものなのでしょうか?
ペプシノゲン、ピロリ菌についてなど基本的なことから講
演していただきます。多くの方のご参加をお待ちしています。

Information

他職種公開講座 細胞診定期講習会

評価点

専門教科-20点(会員証をお持ちください)
※評価点=日臨技生涯教育点数

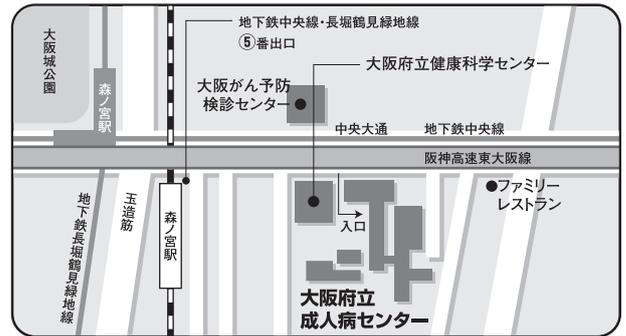
Theme 細胞診総論、婦人科細胞診

- 1. 細胞診総論・子宮頸部
講師: 大阪労災病院 三村 明弘
2. 子宮体部・卵巣・絨毛疾患
講師: 大阪警察病院 浦岡 孝子

春になって、暖かくなると心新たに、勉強したくなりますね。
今年度も8月を除く4月から10月までの毎月、細胞診定
期講習会を開催いたします。細胞検査士を目指される方はもちろ
ん、細胞検査士資格を取得されて間もない方、細胞診に
興味のある方などを対象に、各分野のエキスパートの講師を
お迎えし、わかりやすく解説していただく予定です。なお、
10月は細胞検査士試験1次対策模擬試験です。

4月のテーマは細胞診総論と婦人科細胞診です。総論では
細胞診の基本的な見方・考え方を、婦人科では婦人科細胞診
の基礎知識、良性病変・子宮癌・卵巣癌・絨毛疾患の細胞所
見についてお話していただきます。初心者の方には、見逃せ
ない講演!!ですし、ベテランの方には、知識の整理に役立つ
絶好の機会ですので、ふるってご参加ください。

- 日時 平成24年4月14日(土) 14:00~17:15
会場 大阪府立成人病センター 本館6階 講堂
参加費 1,000円
(非会員は別途、資料代として1,000円が必要です)
連絡先 南大阪病院 宇津野 美弥子
Email: jako@oct.zaq.ne.jp



[交通案内]
JR環状線 森之宮駅、
地下鉄(中央線・長堀鶴見緑地線) 森ノ宮駅 徒歩5分

Information

微生物検査部門 定期講習会

評価点

専門教科-20点(会員証をお持ちください)
※評価点=日臨技生涯教育点数

Theme 院中八策
~未来の微生物検査に向けて~

講師: 関西医科大学附属枚方病院
臨床検査部 中村 竜也

近年、院内における微生物検査の役割は、感染症治療、対策、
予防において重要なものとなりつつあります。

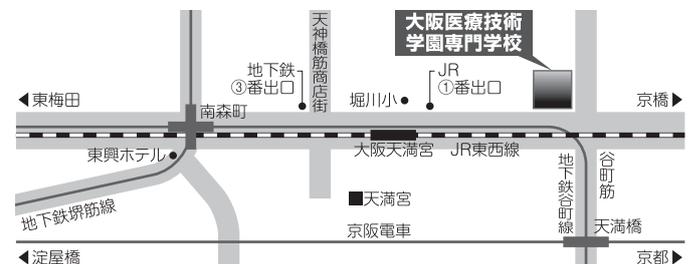
日々、医療が進歩する中で、微生物検査においても例外な
く様々な検査技術や考え方が出てきます。それらに柔軟に対
応することも、感染制御の中で必要とされます。

坂本竜馬が幕末維新期(慶応3年)に起草した新国家体制
の基本方針とされる8つの策があり、それを「船中八策(せん
ちゅうはっさく)」といいます。これは、未来の日本の政治
における大きな改革となった一つであります。微生物検査室
も未来に向けて、「院中八策」を掲げてみてはいかがでしょうか。

そこで、皆さんと一緒に「院中八策」を考える機会を設け
ました。ふるってご参加ください。

- 日時 平成24年4月24日(火) 18:30~20:00
会場 大阪医療技術学園専門学校 2階
(〒530-0044 大阪市北区東天満 2-1-30)
参加費 会員500円、非会員2,000円
定員 100名
連絡先 関西医科大学附属枚方病院 中村 竜也
Email: nakamurt@hirakata.kmu.ac.jp

*最初の10分、英文論文紹介をします。
担当: 関西医科大学附属滝井病院 夏目 聖子



大阪超音波技術研究会

評価点

専門教科-20点 (会員証をお持ちください)

※評価点=日臨技生涯教育点数

主に腹部・体表の超音波について
年間5回の研究会を開催しています。
各種講演のほか、グループ別発表など手作りの
活動も展開中です。

定例研究会は偶数月第3金曜に開催します。
2012年4月20日、6月15日、8月17日、10月19日、
12月21日、(2013年)2月15日

※現時点での予定ですので必ず最新の行事予定表でご確認ください。

4月20日開催分の内容

春の特別研究会

—事例から読み解くピットフォール克服法—

担当:住友病院 田上 展子

いずれも・・・

- 会場 住友病院 14階講堂
- 時間 18:30~20:15
- 参加費 1回500円(年間一括の場合は2,000円)
- 連絡先 住友病院 尾羽根 範員
Email: obane-norikazu@sumitomo-hp.or.jp

他職種公開講座

生理検査部門 定期講習会

評価点

専門教科-20点 (会員証をお持ちください)

※評価点=日臨技生涯教育点数

年度初めの企画として、4月は毎年恒例の心電図検査について勉強したいと思います。
循環器疾患を探る上でファーストチョイスが心電図です。

心電図検査は簡単に検査・記録できますが、その波形の解釈は非常に奥深く、皆さんも一度は勉強し難いと感じたことがあるのではないのでしょうか？そして心電図検査を受けられる患者さんの中には、重篤な方や急変する可能性のある方がおられ、我々検査を行う技師には、正確な判読力と対応が要求されます。

そこで今回は、心電図のスペシャリストである松井先生に
「危険、緊急を要する心電図の読み方 ~見落とさないためのポイントを学ぶ~」
と題してご講演いただきます。

生理検査を担当されている方はもちろんのこと、当直などでしか心電図検査に携わっていない方もぜひご参加ください。



「危険、緊急を要する心電図の読み方 ~見落とさないためのポイントを学ぶ~」

講師: 済生会泉尾病院 循環器内科 部長 松井 由美恵

日時

平成24年4月26日(木) 18:30~20:00

会場

大阪市立大学医学部医学研究科学舎 4階大講義室

参加費

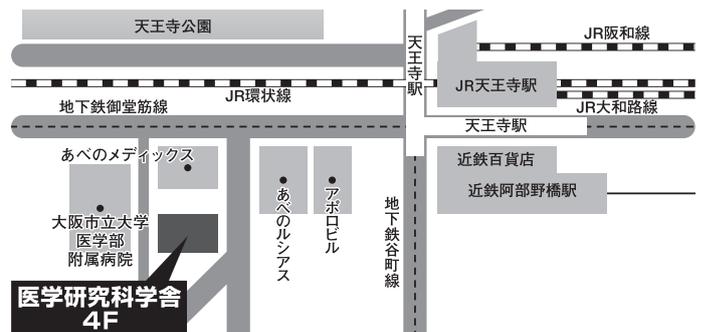
1,000円

(非会員は別途、資料代として500円が必要です。)

連絡先

市立豊中病院 山内 一浩

Email: yamakazu_olive@yahoo.co.jp



近畿心血管治療ジョイントライブ (KCJL) 2012 開催のご案内

開催期日: 2012年4月19日(木) ~ 21日(土)

開催場所: メルパルク京都

詳しくはホームページ
(<http://kcjl.gr.jp/>) をご覧ください

(お詫び)

【4月号大臨技ニュース掲載】平成24年度大臨技学術部 各部世話人名簿 訂正

5ページ目 一般検査部門

世話人 寺西 広樹 氏の所属

誤)市立岸和田市民病院

正)住友病院 TEL:06-6443-1261

6ページ目 検体管理システム部門

世話人 遠藤 升蔵 氏の所属

誤)ファルコバイオシステムズ

正)東大阪市民総合病院 BML検査室 TEL:06-6784-1695

関係各位には大変ご迷惑をおかけいたしましたこと、お詫び申し上げます。

一般検査部門 定期講習会

評価点

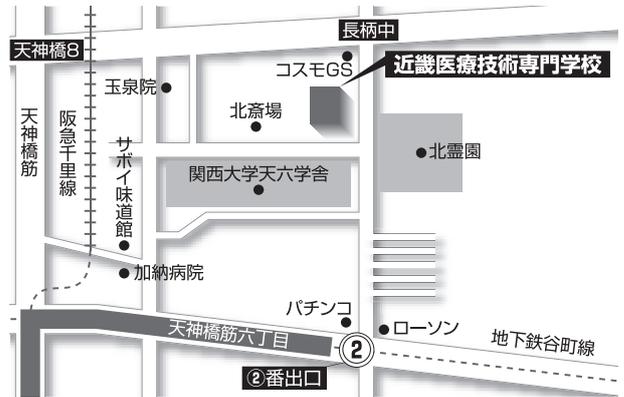
専門教科-20点 (会員証をお持ちください)
※評価点=日臨技生涯教育点数

一般検査部門では「一般検査の基礎の基礎」をテーマに講習会を開催いたします。

新人技師や一般検査を始められたばかりのかた、一般検査に興味のあるかたなら誰でもご参加いただけます。

また国家試験合格を目指して勉強中の学生や技師会への入会を考えておられるかたも歓迎いたします。多くの方のご参加をお待ちしております。

- **日時** 平成24年4月27日(金) 18:30~20:30
- **会場** 近畿医療技術専門学校 2階会議室
地下鉄 天神橋筋6丁目駅下車
②番出口より北へ徒歩5分
- **参加費** 無料
- **連絡先** 大阪大学医学部附属病院 医療技術部検査部門
堀田 真希
Email: masakin@pop.dc5.so-net.ne.jp



内容 一般検査の基礎知識

1. 「尿検査における検体の取り扱い」
講師: 国立循環器病研究センター 臨床検査部 豊政 圭未
2. 「一般検査から考える疾患」～尿・便検査における症例～
講師: 大阪労災病院 臨床検査科 村田 良一

「一般検査基礎講習会」のお知らせ

予定

一般検査部門では「一般検査基礎講座」を今年度は6回にわたり開催いたします。各回の詳細は大臨技ニュースにてご連絡しますのでご覧ください。技師の方や一般検査を始められたばかりの方を対象にしています。多くの方のご参加をお待ちしております。

第1回	平成24年 5月16日(水)	「尿試験紙法」、「腎機能検査」
第2回	平成24年 5月30日(水)	「血球類・塩類」
第3回	平成24年 6月13日(水)	「上皮細胞」
第4回	平成24年 6月27日(水)	「円柱類」
第5回	平成24年 7月11日(水)	「異型細胞」
第6回	平成24年 7月25日(水)	「髄液検査法」

- ※ 各回とも18時45分開始予定です。
- ※ 詳細については、開催月の大臨技ニュースをご覧ください。
- ※ 諸事情(天候や感染症の流行、会場の都合など)により、日程などを変更する場合があります。その場合は大臨技ホームページにてご連絡いたします。

第31回 北支部自由集会のご案内

予定

- 【テーマ】『臨床検査技師が知っていて損はない画像診断の読み方』
- 【日時】平成24年5月26日(土) 15:00~18:00
- 【会場】大阪医科大学 PA会館(新講義実習棟)1階 P-101 講堂
(高槻市大学町2-7、阪急高槻市駅徒歩2分、またはJR 高槻駅徒歩10分)
- 【参加費】会員500円
- 【連絡先】北支部長 竹下 仁(大阪府三島救命救急センター)
Email: takesita302@osaka-mishima.jp



※ なお、詳細はニュース次号に掲載します。



第1回 緊急検査部会

平成24年度、最初の緊急検査部会は緊急検査の基本事項を知るとともに、検体検査部門・生理検査部門における緊急検査の関わりについて学びたいと思います。皆様お誘い合わせのうえ多数参加くださいますようお願いいたします。

～第1回 緊急検査部会テーマ～

聞かなきゃ～損・損・損!!○○

プライマリーケアと検査技師の関わり

- | | |
|------------------|-----|
| 1. 基本事項のレクチャー: | 調整中 |
| 2. 検体検査部門での関わり方: | 調整中 |
| 3. 生理検査部門での関わり方: | 調整中 |
| 4. 討論 | |

【日 時】平成24年5月15日(火)

18:30～20:00

【会 場】大阪鉄道病院3階 大講堂

【参加費】会員500円、非会員3,000円

評価点

基礎教科-20点(会員証をお持ちください)
※評価点=日臨技生涯教育点数



Report

南支部地域オープンセミナーに参加して

平成24年2月4日(土曜日)、生長会府中病院のセミナーホールにて南支部地域オープンセミナーが開催されました。テーマは「変化する医療情勢と診療支援を考える」でした。

初めに三菱化学メディエンスの瀬戸山先生より、臨床検査に関する診療報酬の状況についてのお話があり、続いて現行制度における臨床検査の有効活用について、判断料の視点より岸和田徳洲会病院の櫛引先生からお話がありました。

後半部分は、診療支援という切り口に内容が移り、近畿大学医学部附属病院の佐藤先生より、「臨床検査技師の病棟常駐配置への期待」ということで、病棟業務支援のお話があり、化学療法施行患者に対する副作用や検査結果の説明、蓄尿検査の説明、採血、採血管の準備など様々な業務を実施されているという内容でした。

当院では一部の病棟採血のみ行っていますが、臨床検査技師が検査室外でできることはいろいろあるのだ

など感じました。単なる便利屋になってはいけませんが、臨床検査技師の可能性を見出すことが大事だと思いました。

最後に阪南中央病院の北田先生からは、医療事故で夫を亡くし、辛い過去を持ちながらも遺族の立場として病院の患者情報室という部門でお仕事をされておられるという、貴重なお話を聴くことができました。

「患者さんに寄りそう」をモットーに日頃からコミュニケーションをとることで信頼関係が築ける！」と力強く言われていたのがとても印象的でした。患者さんだけでなく、医療者間のコミュニケーションの大切さが改めてよくわかりました。一人一人が普段から少し心がけることで変わると意識し、気を付けたいと思いました。講演後の、熱いディスカッションも非常に参考になりました。

岸和田徳洲会病院 臨床検査科
倉津 幸江

献血ボランティア

去る 2 月 18 日 (土)、難波グリーンガーデン (難波駅北側すぐ) にて、今年度 2 回目となる献血協力の街頭呼びかけをおこないました。

雪がちらつく本当に寒い中の活動でしたが、スタッフのあたたかい呼びかけにより、献血車 (グリーンガーデン)・献血ルーム (まいどなんば献血ルーム) あわせて、多くのあたたかい市民の皆様へ献血していただくことができました。本当にありがとうございました。

次回は平成 24 年 8 月に実施いたします。過去に府知事に表彰いただきました「公益活動」である大事な献血推進活動です。大臨技会員及び賛助会員の皆様、臨床検査技師教育機関の皆様、ご家族・お友達を誘っていただき、多数のご参加ご協力をよろしくお願い申し上げます。

大臨技 渉外部 (多根総合病院 中央検査部)
北川 篤

献血ボランティアに参加して・・・

2 月 18 日 (土) に私達 4 人は献血のボランティアに参加させていただきました。

難波の高島屋前でティッシュを配りながら、街行く人に献血に対するお声をいただいたり、献血を促す声かけをしました。当日の気温はとても低く、ティッシュを渡す手がうまく動かない程の寒さでしたが、そんな中でも人通りはそこそこあり、予想以上に多くティッシュを配ることができた気がします。

スーツを着た会社員や、何度も献血をされている人など色んな方がいましたが、献血に協力したくても、薬を服用してできない人やご年配の方、その他の理由でできない人達から色々お話を聞いて、「献血したくてもできない人がいるのに、健康な私達が協力していないのはダメだな。」と感じました。

現在、全ての血液型の血液が足りていません。健康であるならぜひ参加してほしいです。私達は今回献血カードを作ったので、今後機会があれば積極的に献血していこうと思えました。

当日データ 晴れのち曇り時々雪 5℃

(難波グリーンガーデン)

400mL限定	受付数 80名	採血数 60名
---------	---------	---------

(まいどなんば献血ルーム)

400mL	受付数 96名	採血数 78名
-------	---------	---------

200mL	受付数 2名	採血数 1名
-------	--------	--------

成分献血	受付数 21名	採血数 19名
------	---------	---------

【合計】	受付数 199名	採血数 158名
------	----------	----------



また、献血ルームも見学させていただき、暗く怖い病院みたいな所というイメージを持っていたのですが、そうではなく明るくて綺麗で、とても居心地の良さそうな所でした。個人情報もしっかり守られていて安心で、ベッドも採血される人がリラックスできる様に工夫されていました。休憩スペースでは、検査後に頂けるコインで、お菓子などが貰えたり、飲み物もたくさんありました。退屈しないようにパソコンや雑誌なども置いてあり、ゆっくり休憩できます。

今回初めて献血ルームがあることを知って、気軽に行けることもわかり、友人などに広めてさらにもっと多くの人に知ってもらえたらいいなあと思いました。

近畿医療専門学校 臨床検査科 1年生
尾崎 綾乃、高石 美羽、竹山 芽里、吉永 仁香

平成 23 年度 HIV 予防啓発講演会 報告

大臨技 渉外部 (市立豊中病院) 清水 隆之

平成 24 年 2 月 4 日 (土) 大阪医療技術学園専門学校にて HIV 予防啓発講演会を開催しました。

これは、今まで 12 月の世界エイズデーに合わせて取り組んできた HIV 予防啓発活動の一環で、これまでの街頭での啓発活動から、より具体的な活動として青少年にむけた講演会として企画しました。

大阪医療技術学園の学生さんを中心に多くの方々に参加していただき、大阪府健康医療部保健医療室の山中先生から「HIV 感染症の現状や予防について」、大阪府立公衆衛生研究所感染症部の森先生から「HIV 感染症の検査と治療について」の内容で講演をしていただきました。

大阪では結核とともに、エイズ患者・HIV 感染者数が増えており、予防啓発活動が重要となっています。

渉外部では、今年度の事業計画にも記載していますが「5. 社会貢献活動を推進する 2. 予防啓発事業を推進する」目的で活動を継続していきますので、会員の皆様のご協力をよろしくお願い致します。



東大阪市立総合病院 ビー・エム・エル検査室 才木 見知子

2月14日緊急検査部会 テーマ：「あんな症例・こんな症例」に参加させていただきました。

今年度の参加者総数が600名を越えたということで緊急検査への関心の高さを感じました。

1 演題目、「胸痛からのお・・・？」では胸痛を来たす疾患について、山崎先生に生理検査の役割を教えてくださいました。胸痛といえば直ぐに心筋梗塞等を考えますが、心電図でST上昇を示すのは50%程度であること、10%は正常心電図を呈することなどから、超音波検査の緊急性を改めて感じました。

2 演題目、「感染症？血液疾患？・・・どんな症例」では津田先生にO-157に診断されるまでの経緯とその疾患から類似するHUSとTTPの判別方法を教えてくださいました。一見異なる疾患に思えますが、実は診断上共通点があり、疑わしいものだけを検査するのではなく、除外することも必要なのだと感じました。

3 演題目、「外傷編」では福田先生に外傷の定義などを教えてくださいました。衝撃的な外傷画像ばかりでしたが、“外傷”にも様々な分類があることを初めて知りました。特に高エネルギー外傷はどれだけ元気であっても3次救急へ搬送しなければならない事も初めて知りました。

今回、学んだことは緊急の現場では患者様の状態（バイタルサインや現病歴等）や理学的所見（問診・視診・触診・聴診等）を把握し迅速な対応が要求されるということでした。

救命救急医療は医師や看護師、検査技師がチーム一丸となって活躍されているお話はとても勉強になりました。

普段検体検査のみ携わっている私にとって、現場の状況や患者様の状態を把握することは難しいですが、医師や看護師とコミュニケーションをもち情報を共有化し、広い視野を持って検査することは迅速な診断に繋がるのではないかと感じました。

今回学んだ内容は日々の業務に必要な不可欠であり、学んだ内容を活かし実践していきたいと感じました。



岸和田徳洲会病院 臨床検査科 鎌田 智

当院の検査室では三次救急に対応できる様、当直業務をはじめ、各種緊急検査を行っています。

また、各部署の研修を終えた現在、日本臨床検査医学会同学院認定の臨床緊急検査士の資格習得を積極的に目指しています。その様な環境で働く私たちにとって、緊急検査部会で学ぶ内容はとても興味深く、役に立つ内容が多いため、今回も参加させていただきました。

今回は症例を中心とした勉強会ということもあり、驚かされることや考えさせられる内容が多かったです。

私自身、生理機能へ配属されたこともあり、胸痛を訴症とする疾患に対する検査については特に興味を持ちました。心筋梗塞を発症していても心電図でも正常を示すことがあると知り、検査を行う際にはただ検査をするだけではいけないのだと思いました。

臨床医より先に患者さんに接する私たちがその訴症を聞くことができれば、検査を行う際にさまざまな疑いを持って検査することができ、より臨床が求める結果を返

すことができると思いました。

また、FAST（簡易超音波検査）を用いれば、緊急性の高い状態に対する対応がいち早くできると感じ、そのために私たち検査技師は技術・知識を高めていく必要があると思いました。

今回の勉強会で学んだことは、出てきた結果は全てが患者さんのサインであり、異常な結果には疑いを持ち検査していく必要があるということと、実際の現場では思いもよらないことが起っているということです。このことを心に留め、日々の業務を行っていきたく思います。

今回このような貴重な講演をしてくださりました先生方、緊急検査部会の皆様、ありがとうございました。

今後も役に立つお話を拝聴させていただきたいと思っております。

大阪医科大学附属病院 中央検査部 尾谷 仁美

先日、糖尿病療養指導士講演会に参加させていただきました。まさにこれから療養指導を勉強していこうと思っている私には、ぴったりの講演会でした。

第1部の右田先生の講演では、POCT 機器の実際の精度管理について知ることができました。療養指導には様々な職種が関わりますが、精度管理の専門知識を持っているのは検査技師だけという点から、改めてその役割を認識しました。

そして第2部の糖尿病劇場 in 中之島。ずっと劇見るん？何するん？などと思っていましたが、始めてみるとあっという間で充実した2時間でした。ディスカッションでは岡崎先生と岡田先生が参加者の意見をうまく汲みあげてくださり、色々な施設・職種の方の意見を聞くことができました。

今回の講演会に参加したことで、これから勉強していくための心構えができたと思っています。このような有意義で、楽しい講演会を開いてくださった関係者の方々に感謝しております。ありがとうございました。

ふくだ内科クリニック 看護師 田代 志穂

今回のテーマは「糖尿病劇場から学ぶ患者さんとのコミュニケーション法」ということで私にとっても“永遠のテーマ”ですので興味を惹かれて講演会を心待ちにしていました。

糖尿病劇場のSCENE 1.2とも日常業務の中、よくある場面での皆さんの“名演技”さながら黒子さんの“心の声”の演出もとても効果的で楽しく観劇しながら“私ならどうするかな？”と自分の立場におきかえて考えました。岡崎先生と岡田先生の絶妙なユーモアあふれる進行のおかげで会場が和み、活気的にディスカッションが繰り広げられました。“気になったセリフ”について皆さんの意見を聞いてみると様々に視点の違いがあり、気づかされる事がたくさんありました。実際、日常業務の中で患者さんとのコミュニケーションでは、どんな反応が返ってくるかわからず“ぶっつけ本番”ですから臨機応変に“アドリブ”も必要だったりして本当に難しいです。

今回、皆さんと共通の悩みを分かち合いながら考え、意見交換する事でヒントやアドバイスをいただくことができました。また他職種の方との交流を持つことで視野が広がり自分自身、角度を変えて考えることがで

き大変良い勉強になりました。

一方的な指導にならないよう患者さんを良くみて“心の声”に耳を傾け“気遣い”ができるよう日々精進していきたいと思いました。

いつもこのような良い勉強の機会をたくさん企画していただきありがとうございます。

糖尿病劇場の企画者のひとりとして
済生会野江病院 検査科 田村 美貴

2月5日、他職種公開講座 糖尿病療養指導講演会があり、このなかで行なわれた糖尿病劇場の一劇団員(笑)として参加しました。糖尿病劇場は療養指導の場面を劇で再現して、登場人物の心の声を黒子が演じます。患者さんと医療者側のすれ違いを参加者で考えるというものです。他の勉強会で数回糖尿病劇場を拝見したことがありますが、検査技師の立場からのものはなかったように思います。シーン1は糖尿病性腎症の検査についての説明場面、シーン2はSMBG指導の場面でした。

シナリオ作りは大変でした。まず、場面のテーマ作りをした後、患者さんと検査技師のやりとりを考えていきます。私は糖尿病教室の経験はありますが、個人指導は行う機会が少なく、頭を悩ませました。ようやくシナリオができ、患者さんと技師との会話のやりとりをしながらそれぞれの立場に立った気持ちになり、心の声を付けていきました。その後も何度か書き直して、それぞれのシナリオが完成しました。

当日は緊張もありましたが無事に終了することができました。このような経験をしたことで、患者さんの言葉には出せない気持ち(心の声)を考えることができたのではないかと思います。患者さんやスタッフとのコミュニケーションの大切さを再確認するとともに、患者さんに心を開いて話をしてもらえるような指導ができるように努力し、また検査をする上でも役立てたいと思います。



「糖尿病劇場を観劇して感激!!」
大阪府立泉州救命救急センター検査室 福田 篤久

平成24年2月5日の日曜日、大阪大学中之島センター10Fホールにて開かれた、他職種公開講座第20回糖尿病療養指導士講演会に参加した。前日に参加した勉強会の疲れも手伝ってか、講演1部の途中からの参加となったが、お目当ての講演2部「糖尿病劇場 in 中之島～検査の知識を活かして患者さんとのコミュニケーションをとろう～」には間に合った。

会場は、目を見開かなければ探せないほど空席が少なく、満席に近い状態であった。私の知る限りでは、愛知や岡山など遠方から参加している技師も見受けられた。

さて、糖尿病劇場はScenario（シナリオ）が二つ（異なる問題を抱えるDM患者二人）用意され、それぞれの患者に対して経験年数が異なる二名のCDEJ（糖尿病療養指導士）による指導方法の違いを劇化したものであった。したがって、勉強会参加者は四幕のCDEJ劇を観る（体験）ことができた。

Scenario-1のTake-1は、検査値を理解しているようではない患者（49歳 男性糖尿病歴17年 糖尿病性腎症2期）にCDEJの取得を目指して勉強中の新人技師（患者のために一生懸命指導したいが、知識を伝えたい気持ちばかりが先走り少々焦り気味）が患者の尿検査結果より腎症3期に移行しつつあること、また血清クレアチニンが上昇する頃には4期になることを必死で指導しようとしている場面である。まず最初に私が驚いたことは、患者と新人技師にそれぞれ黒子が影のようにくっついていていたことである。この黒子の役目は、患者と新人技師の口には出せない本音（腹の中）の部分に参加者に訴え、本音と実際の指導（立て前）の困難さを理解してもらおうと意図されたものであったと思う。この黒子の存在が、この劇を凄く現実化し、且つ“本音と立て前”のギャップが興味深いものにしていたので、最初の部分を紹介しておくこと

にするが、あくまでも私の記憶から再現しているので当日の台詞とは異なると思うがご了承願いたい。

技師「〇〇さん、初めまして検査技師の△△です。・・〈省略〉・・
〇〇さんはもう腎症の2期と診断できますよ」

患者「えっ、腎症？なんやねん、それ・・？」

患者黒子「腎症？初めて聴く言葉やなあ？今日は早よ帰りたいねん、もうええわ今度にしてくれ」

技師「あっ失礼しました。・・〈省略〉・・糖尿病から来る腎機能障害のことです」

技師黒子「なんやここから説明しなあかんのか、難儀な患者やな…。なかなか本題に入れへんがな」

患者「そのことやったら、前々から知ってまっせ。僕は、まだ血中のクレアチニンも正常範囲やし大丈夫ですわ」

患者黒子「看護師の娘から糖尿病の本を仰山借りたからようわかってるわ。3分以内で終わってや」

このように、私のような糖尿病療養指導について全く無知な者にとっても、全編を通じて両黒子の存在がCDEJの日々の苦悩と患者へのアプローチの難しさを・・・、また患者の本音らしきものをよく表現できていると感じた。したがって、CDEJを目指されている技師やCDEJとして臨床現場で活動されている方にとって、本当に実のある体験（現場で遭遇することの多い）であったのではないだろうか・・・。少なくとも私にとって、今までグレーゾーンだったCDEJの仕事内容とその重要性が楽しく学べたことは紛れも無い事実である。また、この勉強会から受けた刺激は強く、マンネリ化しつつある勉強会の今後を考えるうえで貴重な材料を提供していただいたと感謝している。

最後に、大臨技において過去に無い勉強会のスタイルに挑戦されたCDEJグループに敬意を表すると共にスタッフの皆様のご苦勞が今後きつと報われることを期待している。そして心から“お疲れ様でした、ありがとう”と言いたい。



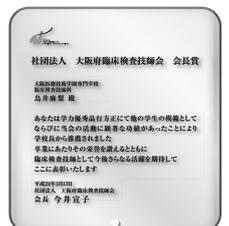
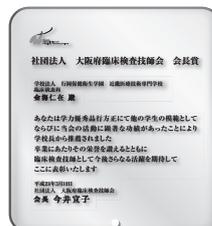
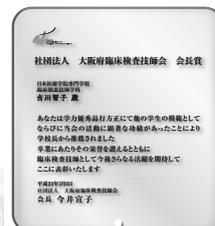
Report

平成23年度 会長賞

臨床検査教育機関である専門学校3校に対して、学業と技師会活動に功績のあった学生に卒業式にて「大臨技会長賞」(表彰盾)が贈られました。

(カッコ内は授与日 敬称略)

- ✦ 日本医療学院専門学校 臨床検査技師学科
吉田 智子 (平成24年3月6日)
- ✦ 近畿医療技術専門学校 臨床検査科
金海 仁在 (平成24年3月10日)
- ✦ 大阪医療技術学園専門学校 臨床検査技師科
鳥井 麻梨 (平成24年3月12日)



～おめでとうございます！これからの活躍を期待しております～

大臨技事務局より 平成24年度 会費納入のお願い



日臨技とは **別納方式** の扱いとなっております。

所定の「郵便振込用紙」をご使用ください。(12月号送付時同封)

1.	大臨技「継続会員」納入金額
	大臨技年会費 5,000円
2.	大臨技「新入会」および「再入会」納入金額
	大臨技新入会費・再入会費 2,000円
	大臨技年会費 5,000円
計 7,000円	



「大臨技臨床検査技師賠償責任保険」
に加入される方は
ニュース12月号または大臨技ホームページ
をご参照ください。

！ 大臨技発行物の送付先について ！

平成24年度より、大臨技からの発行物（大臨技ニュース・案内等）について、施設会員（勤務先施設が登録されている会員）の方への送付先は、勤務先施設となります。



大臨技公式Twitter
2月14日開設しました。

大臨技からのお知らせや考えなどをツイートしていく予定です。
皆様もぜひフォローをお願いします。
ツイッター名は **oamt_tt** です。

大臨技ホームページ内でも
Twitterで最新情報を公開しています！

敗血症(細菌性)の鑑別診断、
重症度判定の補助に

プロカルシトニン
PCT

プロカルシトニン(PCT)はカルシトニンの前駆体として甲状腺のC細胞で生成され、血中にはほとんど分泌されません。敗血症(細菌性)の患者では血中プロカルシトニン濃度が上昇するのに対し、ウイルス感染症ではほとんど上昇しないため、敗血症(細菌性)の新しいマーカーとして注目されています。



イムノクロマト法

体外診断用医薬品 承認番号 21900AMX00925000

プロカルシトニンキット

ブラームス PCT-Q

酵素免疫化学発光法

体外診断用医薬品 承認番号 21800AMX10625000

プロカルシトニンキット

スフィアライト・ブラームス PCT

- ▶ 自動化学発光酵素免疫分析装置 SphereLight 180
- ▶ 自動化学発光酵素免疫分析装置 SphereLight Wako

LBA法

体外診断用医薬品 承認番号 22200AMX00283000

プロカルシトニンキット

ミュータスワコー ブラームス PCT

- ▶ 全自動蛍光免疫測定装置ミュータスワコー i30

〔製造販売元〕

和光純薬工業株式会社

大阪府中央区道修町3-1-2

〔問い合わせ先〕

和光純薬工業株式会社

臨床検査薬 カスタマーサポートセンター
〒103-0023 東京都中央区日本橋本町4-5-13
電話：(03) 3270-9134 (ダイヤルイン)

皆様のご意見、情報等お待ちしております。
FAX:06-6763-5653 E-mail:imai@osaka-amt.or.jp
郵送の場合は大臨技事務局までご送付ください。

平成24年5月号の原稿メ切は**4月5日(木)**、6月号は**5月4日(金)**です。